

枚方の秋を彩る菊人形

菊人形は菊の花でつくられた衣装を着た人形で、芝居や大河ドラマの名シーンを再現してつくられます。衣装となる菊を栽培し飾り付ける菊師や、頭や手足をつくる人形師など様々な職人によりつくられる菊人形は、舞台装置も含めて楽しむ「総合技芸」ともいわれます。

明治43年(1910)に京阪電鉄がはじめた菊人形展は、大正元年(1912)の第3回から枚方で開催されました。途中、戦争による中断や開催地の変更があったものの「ひらかた大菊人形」として親しまれていましたが、平成17年(2005)、その歴史に幕を閉じます。それを受け、伝統ある菊人形を継承するため、ひらかた市民菊人形の会が平成18年に発足、「ひらかた大菊人形」で活躍していた人形師・武河重仁氏^{たけかわしげひと}から指導を受け、人形製作をはじめました。その縁で武河氏が製作した人形の頭や手足のほか、場面を描いた下絵や製作にかかわる図面類などの資料は、ひらかた市民菊人形の会が受け継ぎました。それらについて文化財課が令和2年度から調査を開始し、その後、寄贈を受けました。中でも254点の人形の頭は、つくられた時期がわかるものもあり、菊人形の歴史をたどることができる貴重な資料です。

左下の写真は弁慶^{べんけい}と牛若丸^{うしかまる}の頭で、裏にはそれぞれ「3 五条大橋 弁慶」「3 五条大橋 牛若丸」と書かれた小さな紙が貼られています。菊人形はテーマに沿っていくつかの場面をつくるのですが、「3 五条大橋」は3番目の場面が五条大橋であることを示しています。弁慶と牛若丸が登場する題材、3番目が五条大橋の場面だった年をさがすと、平成17年の「ひらかた大菊人形 義経^{よしつね}」で使われたものだとわかりました。その場面が右下の写真です。

今年の秋もひらかた菊フェスティバルの一環で、NHK大河ドラマ「光る君へ」をテーマにした市民菊人形展が、枚方市役所別館の北側や枚方市駅2階コンコースなどで開催されています。丹精込めてつくられた菊人形を観ながら、枚方の秋を楽しんでみませんか。



「ひらかた大菊人形 義経」のチラシ



弁慶(左)と牛若丸(右)の頭



「ひらかた大菊人形 義経」 五条大橋の場面

『魅惑の花嫁タンス』？！朝刊チラシから見る枚方の嫁入道具

市史資料室では枚方市域に関わる歴史資料を収集・保存しており、これらの資料を活用し、市の歴史などに関する疑問にお答えするほか、本格的な調査・研究のお手伝いもしています。資料収集の一環として、平成6年（1994）から新聞（朝刊）の折込チラシを収集しています。約30年前のチラシを見たところ、最近の折込チラシとは違った様子が確認できます。まず、目につくのはチラシの分量が1.5～2倍ほど多いこと、そして種類にも違いがあります。今も昔も一番多いのは小売業ですが、平成6年当時は、不動産業のチラシが多いことが特徴です。また、近鉄百貨店や松坂屋など、かつて枚方にあった店舗のチラシもあります。

さて、枚方といえば家具団地が有名ですが、今回は平成6年11月の「婚礼家具」のチラシを紹介します。婚礼家具とは結婚をするときに購入する家具のことで、新婦側が嫁入道具として持っていきました。チラシを見ると当時の婚礼家具は、洋服筆筒・ブレザータンス・和筆筒などで、2～6点セットで販売されていたようです。

今から約100年前、大正の終わり頃の嫁入道具は、筆筒・長持・戸棚などで、筆筒の中には着物を入れて、嫁ぎ先でつくらなくてもよいように、一生、着るものに不自由しないくらいのもを持っていくものでした。荷物は「一荷」「三荷」「五荷」と奇数個で用意し、「四荷」はツイツイといて忌んだようです。婚礼家具の変遷を追ってみると、その構成は変化していますが、大正の頃の流れが平成初頭までは残っていることがわかります。

しかしながら、最近は「婚礼家具」という言葉を聞くこと自体少なくなってきました。その背景には結婚観の変化、住宅事情の変化など様々な要因があると考えられます。30年前のチラシからは当時の人々の意識をうかがうことができ、これらをより詳細に分析することで、地域社会の変化を明らかにすることができます。



平成6年11月3日
朝日新聞折込チラシ

イベント
開催予定

❖ お知らせ ❖

イベント名	開催日
輝きプラザきらら展示ルームで開催しています	
① 文化財展示会「海を渡ってきた文化ー日本列島に根づいたモノ・技術ー」	R7.3/3（月）まで
旧枚方宿周辺 10 店舗・枚方宿鍵屋資料館で開催します	
② 第4回枚方宿まちかど歴史展示	12/1（日）～12/15（日）
国史跡 禁野車塚古墳で開催します	
③ 文化財防火デーによる消防訓練	R7.1/25（土）
総合文化芸術センター別館で開催します	
④ 市民歴史講座 「未定」講師：吉川真司氏	R7.2/22（土）
旧田中家鋳物民俗資料館で開催します	
⑤ 鋳造連続講座（全6回）	11/9～12/14（土）
⑥ 古文書講座（全4回）	11/15・22・29、12/13（金）
⑦ 七宝講座「だるま飾り」	11/28（木）

◆第4回枚方宿まちかど歴史展示

旧枚方宿にある10の店舗と枚方宿鍵屋資料館で、各店に伝わる昔の道具や市所蔵のくらわんか茶碗などを学芸員の解説文付きで展示します。

12月8日（日）には、岡本町会館で枚方宿ゆかりの出土遺物や最新の発掘成果に関する特別展示も開催予定。この1日しか見られない限定展示なので、ぜひお立ち寄りください。



2023年の展示のようす